

第142号

平成16年7月31日

編集発行 加茂市議会

〒959-1392

新潟県加茂市幸町2丁目3番5号

T E L 0256-52-0080 (代表)

F A X 0256-53-4684 (直通)

ホームページ

<http://www.city.kamo.niigata.jp>

E-mail

gikaijimu@city.kamo.niigata.jp

加茂市



議会だより



主な内容

- 一般会計補正予算を可決 …… (2)
- 常任委員会の審査から …… (3)
- 一般質問に10人が登壇 …… (4)
- 郵政民営化反対など採択 …… (7)
- 議決状況一覧表 …… (8)

山あいには咲く ばらの花

(冬鳥越スキーガーデンのバラ園)

一般会計補正予算を可決

市民サービスコーナー設置経費など千五百万円増額

6月定例会

六月定例会市議会は、二十一日から七月一日まで会期十一日間で開かれました。この定例会では、各会計補正予算、人事など市長提出議案六件を慎重に審議の結果、監査委員の選任については不同意とし、そのほかすべて原案可決、同意しました。

また、議員提出の意見書四件を原案可決し、関係機関へ提出しました。

市長は本会議初日に発言を求め、最初に、主要地方道長岡栃尾巻線バイパスの信濃川を渡る橋の正式名称が「加茂大橋」となったこと、次に、新潟県警察本部の警察署再編整備実施計画にある、加茂警察署と三条警察署との統廃合の検討に対し、白紙撤回を求める要望書について報告がありました。

この定例会に、市長から提出された議案の内容は、次のとお

- 21日 本会議・全員協議会
- 22日 本会議
- 23日 本会議・連合審査委員会
- 25日 産業建設常任委員会
- 28日 社会厚生常任委員会
- 29日 総務文教常任委員会
- 7月1日 本会議

定例会日程

りです。
補正予算 一般会計は、千五百四十八万一千円を増額し、予算の総額を百四十億三千六百九十八万一千円とするものです。
 歳出の主なものは、七谷、下条、須田の各コミュニティセンターで、戸籍等を証明発行するための市民サービスコーナー設置経費百六十二万四千円、赤谷の地域集会所施設整備補助金二百三十三万三千円、中小企業金融対策費千八百八十二万四千円などを増額するものです。
 老人保健特別会計は、三千百六十四万三千円を増額し、予算の総額を三十億六千九百九十五万六千円とするものです。
 歳出の主なものは、平成十五年度支払基金交付金等の精算に伴い、諸支出金三千百六十四万三千円を増額するものです。

市道路線 地元の要望等により、市道路線の認定をするものです。

議会選出の監査委員は不同意

人事 定例会最終日の本会議で、八月三十一日に任期満了となる人権擁護委員候補者に、広野豊作氏（若宮町、64歳）を推薦することに

ついては、投票の結果、同意しました。

なお、議会選出の監査委員に高橋禎雄氏を選任することについては、投票の結果、不同意となりました。

専決処分 国民健康保険特別会計補正予算は、



おれおれ詐欺 羽生 六男

平成十五年度国民健康保険特別会計補正予算の決算見込みで、歳入が歳出に不足することから、平成十六年度の歳入を繰り上げて、これに充てるものです。
 歳出の内容は、前年度繰上充用金八千四百七十五万五千円です。この結果、予算の総額は二十四億六千二百八十六万七千円となります。

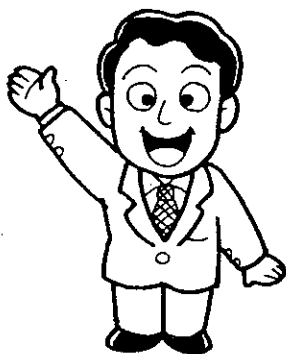
7月臨時市議会 七月二十二日に臨時市議会が開かれました。市長から提出された議案は、一般会計補正予算二件で、原案可決されました。

これは、上下条区民会館改修費の補助金と防災資機材整備費及び、豪雨で流出した簡易トイレ・ゴミ箱購入の露店市場管理費等です。

また、古山一作議員の議会運営委員及び産業建設常任委員会副委員長の辞任に伴い、後任の議会運営委員に、安武秀敏議員、産業建設常任委員会副委員長に高井保議員がそれぞれ選任されました。



委員会の審査から



各常任委員会に付託された議案、請願については、6月25日から6月29日の間に各常任委員会を開いて慎重に審査した結果、議案はすべて原案可決、請願は採択すべきものと決まり最終日の本会議へ報告されました。

産業建設常任委員会

六月二十五日に委員会を開催し、最初に市道路線等の現地視察を行った後、一般会計補正予算など付託された議案二件について、それぞれ説明を受け慎重に審査した結果、特に意見・要望を付すこともなく、すべて全会一致で原案可決すべきものと決定しました。

社会厚生常任委員会

六月二十八日に委員会を開催し、老人保健特別会計補正予算など付託された議案二件について、それぞれ説明を受け、慎重に審査した結果、特に意見・要望を付すこともなく、すべて全会一致で原案可決すべきものと決定しました。

総務文教常任委員会

六月二十九日に委員会を開催し、一般会計補正予算の付託された議案一件について、説明を受け慎重に審査した結果、特に意見・要望を付すこともなく、全会一致で原案可決すべきものと決定しました。

また、三十人以下学級の実現をはじめとする教育予算の充実を求める請願など二件については、紹介議員の説明の後、審査を行い、いずれも趣旨妥当とし

て、全会一致で採択すべきものと決定しました。

議員表彰

全国市議会議長会から永年在職議員として表彰された、次の方々の表彰状伝達式が、定例会初日の開議に先立って行われました。

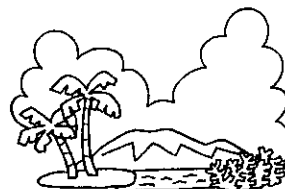
【特別表彰】

◎議員在職二十五年以上

- 大桃 一明 議員
- 星野 昭吾 議員



表彰を受けられた大桃議員(右)と星野議員(左)

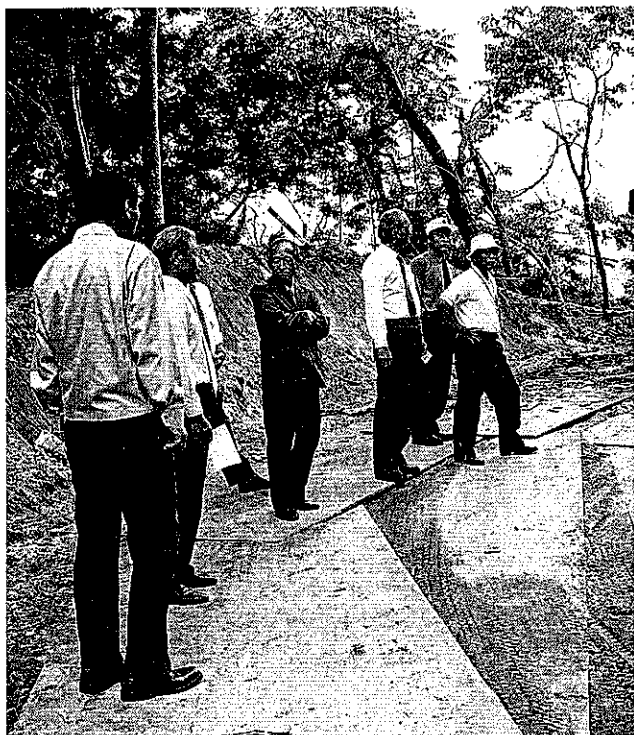


産業建設常任委員会の現地視察（黒水地内）

医療問題特別委員会

去る、六月十四日に特別委員会が開催され、今後の進め方について意見交換があり、七月頃に「県立加茂病院患者と家族の会」の意見を聞く場を設けることが決まりました。

また、七月十二日に特別委員会が開催され、各分科会の現状と課題等について説明があり、七月中に、各分科会の意見をまとめ、その後、一本化することになりました。
なお、特別委員会の後で「県立加茂病院患者と家族の会」との意見交換会を行いました。



産業建設常任委員協議会の林道今滝冬鳥越線現地視察（6月10日）

加茂市の未来のまち作りについて

議員 保 高井 政友クラブ

質問 ① 市長は市町村合併の意思がないことと、小泉内閣のもとでは中長期計画などではないと言っているが、加茂市は本当に大丈夫なのだろうかと不安を感じている人が多い。市民が納得する加茂市の未来のあり方を示して欲しい。

② 全国的に子どもたちの学力低下、指導力不足の教員が問題になっているが、市の実態はどうか。

③ 法務局加茂出張所を西加茂の集会場として利用できないか。

答弁 ① 今後いかなる荒波の中においても、悠々と豊かな市政を運営するために、特に五つの施策がある。第一に守りに徹

市政の内容を聞く

一般質問

六月定例会では初日

から十人の議員が

一般質問を行い市政

全般について所見や

執行状況を聞いたた

めました。その要点

をお知らせします。



猿毛橋よりの眺望

加茂市情報公開条例の制定について

無所属 田沢弘一 議員

質問 ① 情報公開条例の制定は、時代のさう勢として全国的にもほとんどの市や区で条例化が図られている。市長の考えを伺う。また、加茂市の条例や規則を、いつでもインターネットで見られるよう検討されたい。

② 統計資料「加茂市のすがた」からもわかるように、従業員数

英語を加えた五教科で実施した結果、加茂市内の実施校の偏差値の平均はほとんどすべての学年教科で偏差値平均として全国を上回っている。学力検査の数値では全国並みという状況である。なお、加茂市において指導力不足の教員はいない。

③ 今後とも法務局加茂出張所の再開を強く要請しながら、再開の機をねらいたい。

人権思想の普及による加茂市の安定について

市政クラブ 広野豊作 議員

質問 ① 市民一人一人の幸せのためにをモットーにしている市長の市政はまさに人権尊重の典型であると理解している。そこで気になることは、人権擁護の観点から、合併せずに加茂市が単独で生きつづける安定性について疑問が依然としてあることである。そこで、市長の確固たる信念の表明を求めたい。

論と市民と市長のよもやま話等による直接対話にある。そのよもやま話の日が円滑に機能しなくなるおそれがある限り制定には至らない。

また、市の利益を害するおそれのある情報は公開しないことをいかにして担保するかという問題もある。

なお、例規類集のパソコン化の導入は経費の面から難しい。

② こういう守りの時代には、既存の企業を厚く保護しておつたところ、加茂市は企業にとつてよいところだということになり、多くの優良企業から加茂市に来ていただいた。さらに、市が土地を確保して、現在市外にある某企業も須田に近く工場が建てられる予定である。

③ レストラン棟は、数少ない庁舎内の会議室を補完する役目を果しており、有効に活用していきたい。

詳しくは会議録で

六月定例会の会議録は、八月下旬に発行予定です。議会図書室、図書館、勤労青少年ホーム、老人福祉センター、各コミュニティセンター、新潟経営大学図書館でごらんください。

なお視察報告についても、会議録と同じ場所でごらんください。

また、視察報告は、市議会ホームページでもごらんいただけます。

町村合併くらい人権を害するものはない。例えば加茂市が県央六市町村の合併に参加したとすると、加茂市地域の交付税の取り分は毎年三十億円も減るのである。おまけに、加茂警察署までなくなってしまう。当然人心は荒廃し、魍魎魍魎が跋扈して治安は著しく悪化する。加茂が三条に合併されると、警察までなくなるといふそれだけでいかに合併というものがひどいものであるか、今や一目瞭然となったと思っている。

② 市内の小中学校においては全教育活動を通じて人権教育を推進し、人間尊重の精神を培い、差別や偏見を持たない児童生徒の育成に努めている。特に児童生徒のみならず、教職員も共に学ぶ姿勢を持って活動するよう指導していきたい。

加茂市制施行五十周年記念事業について

議員 理一 森山 市政クラブ

質問 ① 市制五十周年は市民に浸透していない。告知方法として、市からの配付物に文字を入れる。市役所の壁面に懸垂幕を掲げる。市内の橋の欄干に横断幕を掲げる。加茂駅にも横断幕を掲げるなど、早急に告知すべきときが来たと思うがどうか。次に記念イベントについても、イベントアイデアの公募等市民に投げかけることなどもよいと思われるが見解を尋ねる。

② 市制五十周年を期に「広報かも」の編集の見直しと、観光的要素をもっと取り入れた加茂市のホームページの刷新を望む。

答弁 ① 市制五十周年の記念式典は、いまだ回復の兆しが見えない昨今の厳しい経済状況の中であるので、簡素に市民とともにお祝いをするという式典にしたいと思っている。しかし、ただいまの議員の提案は参考にした。

② 「広報かも」は市政と市民を結ぶ架け橋として、その時々重要な課題を明らかにして市民に伝えている。私が市長になってから、市長の市政報告を掲載し、市民からも好評である。また、市のホームページにつ

首長の多選制限について

議員 安武秀敏 政友クラブ

質問 ① 平山知事が四選不出馬の理由の一つに多選を挙げ、権力は長くなると、おごり、マナー、よどみなどいろいろイナス面が出ると言っている。地方自治活性化のため、首長の多選制限が望まれるが多選を制限する条例の制定について市長の考えを聞きたい。

② 加茂市のバリアフリー整備の基本構想の策定はなされているか。

質問 ① 報のページについては、より親しめるページ作りに努めたい。

② 市においては、近年建築した建物については、車椅子の利便を前提に、スロープや車椅子用トイレなどバリアフリー化に積極的に取り組んでいる。特に計画を作らなくても、歩道等の段差解消も随分行ってきた。

再質問 ① 小池市長を知事選にという市民の要望もあるやに聞いているし、加茂市をよくする一つの道であり、可能性は大きいと思われるが、市長にそのような考えはあるか。

再答弁 ① 答弁は差し控えた。

厳しい財政状況とはいえ加茂市の活性化策を見いだす努力を

議員 安中弘 市政クラブ

質問 ① 長引く不況の中にあつて、加茂市の製造品出荷額は平成十四年度統計で、平成七年度対比で六八%減に象徴されるように疲弊の一途をたどりつつあり、先行きに展望が持てるどころか、暗闇から抜け出せずに苦しんでいる実情である。このよ

うな時こそ行政当局と市民、業界が互いに英知と力を出し合いながら努力する意欲が大事である。このような時、加茂市の木工業界や木工品はまさに本物であり、木造建築と合わせてモデル化、ブランド化することについて、業界と一体となって取り

三たび情報公開条例の制定を求め

議員 大桃一明 日本共産党

質問 ① 加茂市情報公開条例の制定は、市民の重要な権利として必要であるとして、過去において私を含め多くの議員から質問が行われてきた。しかし、その結果は、小池加茂市長はこの条例制定については全部否定してきた。この条例制定は私の選挙公約でもあり、今回で三回目となるが、市長が制定するまでこの問題を取り上げざるを得ない。改めて、情報公開条例の制定を求める。

再質問 ① 市政を推進していく上で重要なものが市議会での議論と市民と市長のよもやま話等による直接対話にある。そのよもやま話の日が円滑に機能しなくなるおそれがある限り制定には至らない。また、市の利益を害するおそれのある情報は公開

別基金を活用して雇用の確保に努めてきた。

なお、議員提案の木工製品を木造建築と合わせてモデル化、ブランド化することについては、各業界が共同で検討したがましまらなかつた経緯がある。しかし念頭におきたい。

② 越後加茂川夏まつりの二十周年に向け、踊り集団スーパー加茂女の創設を提唱しているとのことであるが、市も全力を挙げて支援したい。

しないことをいかにして担保するかという問題もある。

再質問 ① 市長は制定出来ない理由として、前回まで一貫して「よもやま話」が担保出来ないとしてきたが、今回もう一つの市の利益を害するおそれのある情報は公開しないという答弁が追加となった。この答弁における、市の利益という部分についてどう判断しているか。

再答弁 ① ただいま答弁したとおりである。

再質問 ① どうしても当局提案でないのなら、市民サイドから議会提案して制定する道を歩まなければならないがどうか。

再答弁 ① 議会側で市の利益を害するものまで公開するような条例は作らないようお願いしたい。

介護予防と健康社会づくりについて

議員 良三 正野 佐 党公明

質問 ① 健康フロンティア戦略について、加茂市の生活習慣病対策と女性層及び働き盛り層の健康安心プランについての現状と取り組みを聞きたい。

② 介護保険制度が始まってから、高齢者の要支援・要介護一程度の認定者が急増の傾向にあり、ほんの少しの介護予防でこれらの人を減少させることができるとして、いま介護予防が大きな関心を呼んでいるが市当局の見解を尋ねる。

③ 市の二次産業の振興策について、今後の取り組みを尋ねる。

答弁 ① 寝たきり老人の増加や医療費の増大が問題になっている現在、この戦略がこうした問題の解決につながることを期待している。市としてはこれまでの検診事業や健康教育、健康相談事業を行うとともに、受診勧奨につとめ病気の早期発見、早期治療に結び付けていきたい。

② 議員指摘のとおり、市でも要支援、要介護一が増加が顕著になっている。このため、介護予防対策として骨粗しょう症検診について対象年齢を拡大しているほか、機能訓練事業に力を入れ体操教室も実施している。

③ 地場産業の振興対策については、これまで、東芝ホームテクノの首脳陣と連携を密にし、新潟鉄工加茂工場を支援し、丸

加茂市の財政状況と公共事業の進捗状況について

議員 樋口 浩二

質問 ① 三位一体改革のなか

交付金や補助金が減らされるという将来の不安の中で、加茂市はどの様な判断をしていくのか。

② 現段階における公債費比率及び起債制限比率はどのような状況にあるか。また、公共事業の契約率を聞きたい。

③ 加茂市における経済不況の実態と産業対策を聞きたい。

④ 加茂市における公共事業、すなわち、加茂大橋、天神林上条線、広域林道今滝冬鳥越線、根古屋中央線、若宮公園、五番町商店街都市計画街路事業の現状と進捗状況を伺う。

答弁 ① 今後いかなる荒波の中においても、悠々と豊かな市政を運営するために、特に五つの施策がある。第一に守りに徹し市政の水準を下げない。第二

五技研を支援し、その他の加茂市内の各企業についてもマン・ツー・マンで支援してきた。

は早く第三平成園を建設する。第三は必要に応じ人員削減をする。第四は下水道事業の起債の償還であったが、これは解決した。第五は定年退職者の退職金の財源に起債が出来るよう働きかけている。

② 平成十六年度の公債費比率は一八・九％、起債制限比率は一三・二％となる見込みである。また、契約率は五月末で五・九％となっている。

③ 今後も、壮大な気宇をもって施策を展開していきたい。

④ 加茂市の公共事業については小泉暗黒時代の中、また、県財政の厳しいなか、今までどおりのスピードで進められるかどうか判らないが、今後も全力で国・県に要望していきたい。

現代日本社会の悪しき環境から子供を守るには

議員 高橋 禧雄

質問 ① イラクでの日本人質事件の際、政府関係者や与党の政治家から、しきりに自己責任という言葉が発せられが、一方、年金の未納、未加入問題になると、小泉首相は自身や自党

議員の責任にはほかおむする。このような風潮をどのように考えているか。

② その「責任」ということについて、学校現場ではどのように教えているのか、また、児童

虐待、児童殺害や児童同士の殺傷などの事件が頻発しているが、学校現場での対処方針を尋ねる。

③ 加茂美人の湯のシャトルバスの始発と終着は現在加茂駅となっているが、土産物センターとしたらどうか。

この方法で防げるという特効薬はないが、命の重さや大切さ、暴力的手段によって問題を解決しようとしてはいけない指導、教職員が一人一人の児童生徒をきめ細かく把握することなど、各学校で早期の対応に努力している。

答弁 ① 議員の発言に対して全く同感であり、諸悪の根源は小泉総理の創造的破壊の哲学、自由放任、弱肉強食の基本哲学にあると考えている。

② 学校生活のすべての場で責任ということについて児童生徒に考えさせたり、話し合う場を用意し指導している。また、児童虐待や児童による殺傷事件などの発生を防ぐことについては、

③ 今後もシャトルバスは、現在の方法で運行していきたい。

7・13水害のお見舞い

7・13水害に被災された加茂市民に対しまして、心よりお見舞い申し上げます。

さらに、このたびの水害に甚大な被害を被られた三条市をはじめとする各市町村に対しまして、深甚なるお見舞いを申し上げます。

なにとぞ貴被災住民の皆様方の安寧のため、一日も早い復旧がなされますことをご祈念申し上げます。

平成十六年七月二十三日

加茂市議会

加茂市議会では臨時議員クラブ総会を開催し、各議員から義援金を募り、議会費と合わせて加茂市議会として、つぎのとおり水害見舞金として持参し激励をしてきました。

- ・三条市 二〇万円
- ・長岡市 一〇万円
- ・見附市 一〇万円
- ・栃尾市 一〇万円



郵政民営化反対など採択

六月定例会市議会で受理した請願は二件で、審議の結果、趣旨妥当として採択しました。

世田がん 2件

▽採択したもの

☆意見書提出を求める請願

・三十人以下学級の実現をはじめとする教育予算の充実を求める請願（新潟県教職員組合三南支部執行委員長）

・国民のために郵政民営化反対を求める請願（七谷地区区長会長）

公的年金制度の改革を求める意見書など四件を提出

定例会最終日の本会議において、議員提出による意見書四件を可決し、関係機関へ提出しました。

◎寒冷地手当の「見直し」を行わず地方交付税の充実を求める意見書

人事院は、本年度の勧告で寒冷地手当を見直す方針である。寒冷積雪地に働く者にとって

欠くことができず、民間企業労働者等も準拠しており、影響は計り知れず、地域経済にも打撃を与えることになる。

よって、下記のとおり寒冷地手当制度を維持するよう強く要請する。

記

- 一、平成十六年度人事院勧告にあたって、寒冷地手当制度の改悪を行わないこと。
- 二、地方交付税の寒冷補正の削減を行わないこと。
- 三、生活保護費の冬季加算を引き下げないこと。

◎公的年金制度の抜本的改革を求める意見書

年金は、国民の高齢期などの生活を支える重要な制度である。現在の年金制度が抱える問題点などを考え、信頼できる年金制度を確立するため、複雑な制度を見直し、抜本改革することが望まれている。

よって、政府においては次の事項を行うよう強く要望する。

記

- 一、現行の国民年金、厚生年金、共済年金、議員年金など複数

の制度が存在し不公平感が生じている現行制度を、早急に一元化するための検討を開始すること。

二、国民の不信を払しょくするため、社会保険庁を真に国民主体の運営に見なおし、加入漏れ、不適當な資金運用などの是正の施策を早急に講ずること。

三、少子化など社会情勢を踏まえ若年層も安心して加入できる仕組みを検討すること。

◎三十人以下学級の実現をはじめとする教育予算充実を求める意見書

戦後、我が国の教育は著しい発展を遂げ、教育水準の向上が

図られてきた。

しかし、昨今の教育界はいじめや不登校、「学級崩壊」などが起き、極めて憂慮すべき状況にある。

今こそ一斉的、画一的な教育から、子どもの個性を大切に、ともに学ぶ教育へと転換が求められている。

国においては以下のことを踏まえ、財源措置を講ずるよう強く要望する。

記

- 一、小中学校の全学年での三十人以下学級の実施を柱とする新たな「義務教育法」を策定すること。
- 二、いじめ・不登校、食に関する指導、健康教育の充実、地



産業建設常任委員協議会の若宮公園整備現地視察（6月10日）

域に根ざした教育の実現などの教育課題に対応する教職員加配や子どもの発達を考慮した弾力的な教職員加配をおこなうこと。

◎郵政事業の現行公社経営形態の堅持に関する意見書

郵政事業は全国二四、七〇〇の郵便局のネットワークを通じ、郵便・貯金・保険事業など国民生活の安定向上に寄与している。しかし、昨年四月の郵政公社への移行から、最近、特に民営化への議論が高まっている。

もし、民営化になれば、サービスは採算を重視した収益性の高い都市部に集中し、不採算地域はサービスが低下し、全国統一料金制度の維持は困難で、地方切り捨て・廃局は明白である。よって、政府においては、今後も現行の経営形態を維持し、分割・民営化を行わないよう強く要望する。



6月定例会 議決状況一覧表

議員提出議案		
3	寒冷地手当の「見直し」を行わず地方交付税の充実を求める意見書	原案可決
4	公的年金制度の抜本的改革を求める意見書	〃
5	30人以下学級の実現をはじめとする教育予算充実を求める意見書	〃
6	郵政事業の現行公社経営形態の堅持に関する意見書	〃
市長提出議案		
45	専決処分の承認(16年度国民健康保険特別会計補正予算第1号)	承認
46	16年度一般会計補正予算(第2号)	原案可決
47	16年度老人保健特別会計補正予算(第1号)	〃
48	市道路線の認定	〃
49	人権擁護委員候補者の推薦(広野豊作氏)	同意
50	監査委員の選任(高橋禧雄氏)	不同意

7月臨時会 議決状況一覧表

市長提出議案		
51	16年度一般会計補正予算(第3号)	原案可決
52	16年度一般会計補正予算(第4号)	〃

連合審査会

六月二十三日の本会議終了後に連合審査会を開催し、各常任委員会に付託された議案三件について、総括質疑を行いました。

全員協議会

五月二十六日に月例全員協議会が開かれ、事務に関する説明

書の質疑を行いました。

定例会初日の六月二十一日に全員協議会が開かれ、専決処分の承認について説明を受け質疑を行いました。

また、七月二十二日に月例全員協議会が開かれ、事務に関する説明書の質疑と、水害関連の質疑を行いました。

議会日誌

〈5月〉

25日 全国市議会議長会(東京)
26日 月例全員協議会

〈6月〉

10日 産業建設常任委員協議会
11日 議会運営委員会
14日 医療問題特別委員会
21、30日 定例市議会

〈7月〉

1日 定例市議会
8、9日 北信越議長会特別委員会(飯山市)
12日 医療問題特別委員会
20日 議会運営委員会
22日 臨時市議会
27日 月例全員協議会
28日 議会だより編集委員会

議会だより編集委員

任期満了により、各常任委員から次の者が、議会だより編集委員に選出されました。

12日	医療問題特別委員会	委員長	樋口 博務
20日	議会運営委員会	委員長	茂岡明与司
22日	臨時市議会	委員長	山田 義栄
27日	月例全員協議会	委員長	安田 憲喜
28日	議会だより編集委員会	委員長	大関 勝正
		委員	佐野正三良
		委員	星野 昭吾
		委員	古山 一作



7. 13水害のツメあと
林道麻布谷黒水線(下条地内)

次の定例会は、9月21日(火)から開催の予定です。